



開館25年の あゆみ展

2020

前期 8/18(火) - 9/27(日)

後期 10/6(火) - 11/23(月祝)

休館日 月曜休館（ただし、9/21・11/23(月祝)は開館、9/23(水)は休館）
9/28(月)～10/5(月) ※展示替えのため

開館時間 午前9時～午後5時（発券は午後4時30分まで）

観覧料 一般 300円(200円)、大・高生 150円(100円)、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体割引料金

主催／長岡市教育委員会・長岡市 主管／長岡市栃尾美術館

後援／新潟日報社、読売新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、長岡新聞社、栃尾タイムス社、NHK新潟放送局、
BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCT、エフエムラジオ新潟、FMながおか80.7

同時開催 特別企画 「栃尾の手織物と絹文化」(展示室Ⅱコーナー展示)

長岡市栃尾美術館 〒940-0237 新潟県長岡市上原町1-13
TEL.0258-53-6300 FAX.0258-53-6370
NAGAOKA CITY TOCHIO ART MUSEUM http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/?page_id=135

開館25年 の あゆみ展



当館は、1995年(平成7)に、旧栃尾市制40周年を記念して、県内2番目の市立美術館として開館しました。その後、2006年(平成18)の長岡市との合併を経て、今年で開館25周年、四半世紀の節目を迎えます。本展では、これまで郷土関連の企画展や館所蔵品展で展示した作品約80点に関連資料などを加え、前期(旧栃尾市時代)・後期(長岡市合併後)にわけて紹介しながら、栃尾美術館のあゆみをふりかえります。



同時開催

特別企画

「栃尾の手織物と絹文化」

(展示室Ⅱコーナー展示)

栃尾では、古くから栃尾紬(とちおつむぎ)と呼ばれる手織物が受け継がれてきました。地域の人々の生活と豊かな文化を育んだ大切な財産と言えます。

しかし、時代の変化とともにその技術の伝承と特色ある生活の記憶が失われてゆきつつあります。この展示をきっかけに地域の皆様から手織物の情報をお寄せいただき、記録に残していくことで、貴重な栃尾の絹文化を後世に伝えていくことを目指しています。



栃尾紬の着物 一之貝 渡辺家

企画: 栃尾の手織物と絹文化研究会
(長岡造形大学 菊池・小林研究室)

展示作家(予定)

石丸雨虹
齋藤三郎
千城孤己任
羽賀小町
山内貞次

今井 厚
鈴木孝枝
椿 悦至
穂苅春雄
若井宣雄

風間四郎
竹内蘆風
富川大塊
堀 愛泉
渡邊溪山 他

桐生照子
瀧澤 徳
富川潤一
増井和弘

倉茂義隆
多田清虹
中野雅友
丸山正三



交通のご案内

- JR長岡駅大手口11番線から、見附経由栃尾車庫前行バス60分または、同駅東口4番線から、新榎トンネル経由栃尾車庫前行バス45分「中央公園前」下車、徒歩15分 または、終点「栃尾車庫前」下車、タクシーで5分
- JR長岡駅東口からタクシーで20分
- 関越自動車道 長岡I.Cから40分
北陸自動車道 中之島見附I.Cから30分

長岡市栃尾美術館

NAGAOKA CITY TOCHIO ART MUSEUM

〒940-0237 新潟県長岡市上原町1-13

TEL.0258-53-6300 FAX.0258-53-6370

http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/?page_id=135